

ゴールドパック株式会社 様 [恵庭工場]



設立：1959年（昭和34年）
 本社所在地：東京都品川区東品川4丁目13-14
 事業内容：野菜・果実飲料などの受託製造と自社ブランド製品の製造・販売
 HPアドレス：<https://www.gold-pak.com>

Rinova AGFとパレット用自動倉庫ラックソーターPの導入で、資材供給の完全自動化を実現。

野菜・果実系、天然水などの飲料メーカーで、様々な受託生産を行うゴールドパック様。最新鋭のペットボトル無菌充填システムを取り入れた、北海道の恵庭工場では、従来、ペットボトル原料などの資材を、平置きした倉庫からフォークリフトで運搬し、生産ラインに供給していました。また、供給後の空パレットを資材倉庫に戻す作業もあり、昨今の人手不足により、資材供給の完全自動化が課題でした。そこで、新ライン設置時にトヨタL&Fの自動運転フォークリフト "Rinova AGF" とパレット用自動倉庫 "ラックソーターP" を導入し、作業性やスペースを確保したまま資材供給を完全自動化しました。これにより、資材入庫後は、人の手を介さず、資材供給することが可能となり、1名の省人化を実現。加えて、AGFでの作業は正確で安全性が高く、資材破損などのトラブルもゼロになりました。さらに、バーコードリーダーを活用した、生産管理システムを構築し、運搬だけでなく、使用資材のトレーサビリティを確保しています。

導入商品

- Rinova AGF（自動運転フォークリフト）
- ラックソーターP（パレット用自動倉庫）
- Ecore（電動フォークリフト）

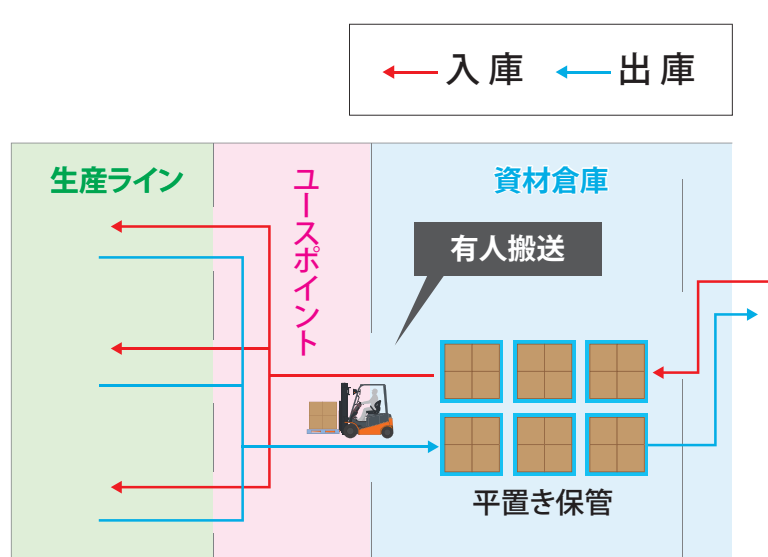
導入効果

- 資材の運搬作業とパレットの回収作業を完全自動化、1名の省人化を実現
- 自動運転フォークリフトにより、4mの荷取り作業で高い安全性を確保
- バーコードリーダーを活用し、使用した資材のトレーサビリティを確保

■ 導入計画の検討プロセス

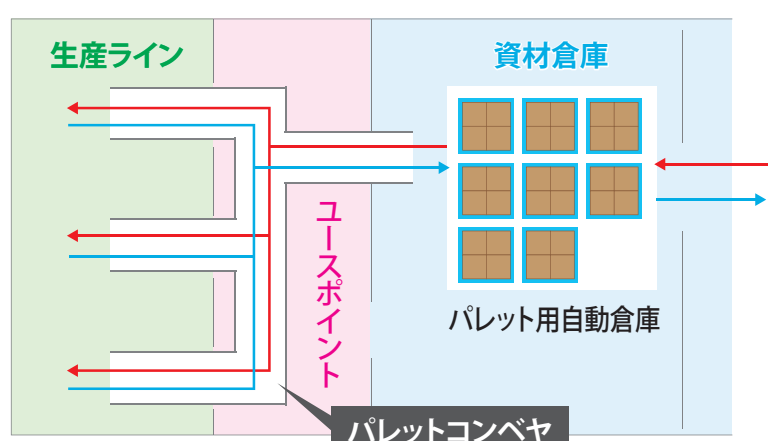
導入前

有人フォークリフト使用
 フォークリフトオペレーターが使用する資材を平置き倉庫からユースポイントへ供給。



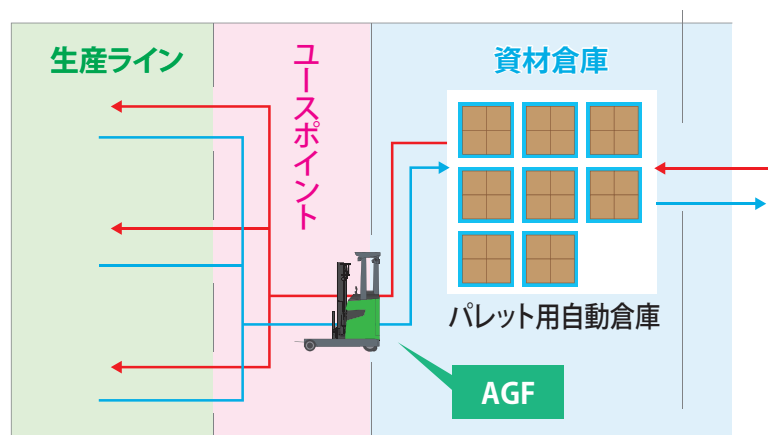
導入検討過程

コンベヤ導入案
 自動倉庫と生産ラインをコンベヤで接続し、資材を供給するシステムを計画。
 [課題] 動線がフレキシブルに確保できない。

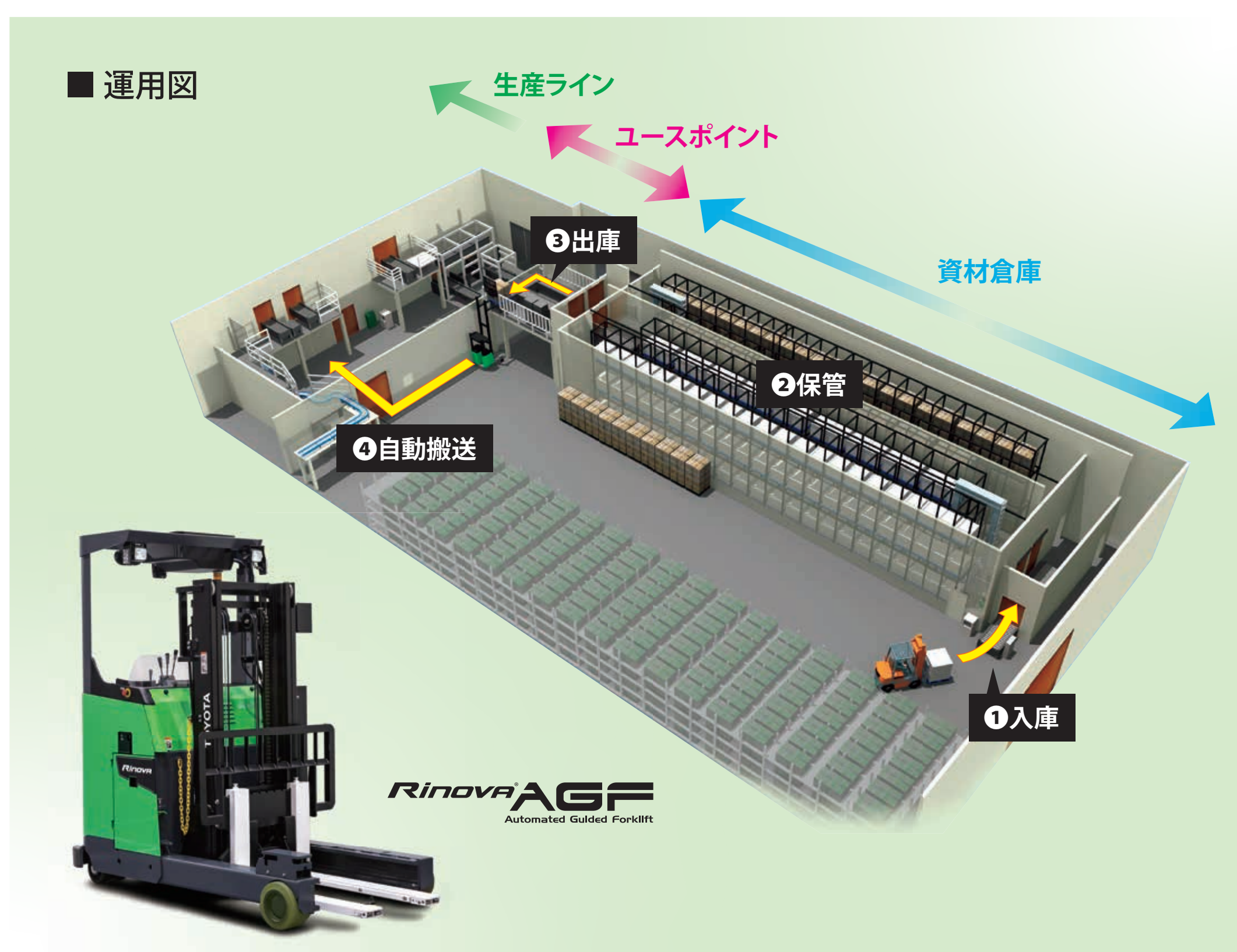


導入最終仕様

Rinova AGF案
 自動倉庫からユースポイントへの資材の供給をAGFで行うことで、完全自動化を実現。



■ 運用図



①入庫
 有人フォークリフトで自動倉庫に資材を入庫。



②保管
 2基のパレット用自動倉庫で資材を保管。総保管間口は321間口。



③出庫
 生産品目を選ぶと、使用する資材が全自動で出庫。自動倉庫の前後にバーコードリーダーを設置。管理システムを構築することで、使用した資材のトレーサビリティも確保。



④-1 自動搬送
 高さ約4mの架台上から資材パレットを受け取り。



④-2 自動搬送
 資材受け取り後、ユースポイントまで搬送。



④-3 自動搬送
 自動搬送コースポイントに到着すると、生産ラインへのコンベヤに資材を供給。



④-4 自動搬送
 供給後の空パレットや空コンテナもユースポイントの別コンベヤよりAGFが受け取り、自動倉庫へ搬送。

